



# みのり

発行所 金光教寝屋川教会  
〒572-0037 寝屋川市葛原新町 1-11  
TEL 072-829-5129  
メール koichiyasui@yahoo.co.jp

## 限りなき天地の恵みもつたいなし 目に見えるもの目に見えぬもの

金光碧水(四代教主金光)様

「♪あめつちはかみのふところ……」とお道の歌(神人の栄光)にあります。庭の掃除をしていて、日光、雨、土など自然の恵みが大きい植物の成長を促していることが実感されます。教会入り口の橋の両側では、チューリップやパンジーの花が、ガーベラ、スノーボール、カーネーションなどに変わり、花壇の椿がツツジ、バラへと変わり、さらにあじさいが花の蕾をふくらませ、初夏の風情を楽しませてくれています。裏庭では、イチジクやびわの実が日に日に大きくなってきています。自然の恵みは、見えるところは氷山の一角で、見えぬところでも限りなく大きな働きをしてくれています。

信心をさせて頂く私たちは、日々神様に心に向けて祈念し、神徳賛辞では「仰ぎまつれば天高く拝みまつれば地は厚し 神の恵みに生かされる身の幸いぞありがたき……」と拝礼しています。ご祈念の時は、確かにそのように唱えています。本心はどうなのか、心の土台がどうなっているのかと反省させられます。自然の恵み包まれ、いろいろな恩恵に生かされていても、それはごく当たり前とし、自分の都合で良し悪しを判断しがちではないかと思えます。自然の恵みだけでなく、親先祖や社会の恩恵に対しても当たり前と受け流し、むしろ不平不満や心配に囚われ、不幸を抱え込むようなことが多いのではないかと思えます。

先日、ゆかり先生が鶴甲教会大祭で宣教の御用をされ、宗教教諭師としての経験を話されました。その中で次のような詩を紹介されました。



### 「しあわせ」

当たり前は人をだめにしてしまう  
あたりまえの数だけ人は不幸になる  
あたりまえを一つ減らせば  
感謝が一つ増え  
感謝の数だけ人は幸せになれる  
感謝は心に恵みを  
あたえてくれるから

○

今日まで、生かされ、育てられ、受けてきている恩恵を当たり前と言ってしまうと、もっと豊かで自由な環境で育てられたら良かったなどと不平不満がムクムクとわいてきて、その果てに自分は不幸だと決めつけ、先の心配に囚われてしまう。自分自身を顧みても、周囲を見回して見てもそういう傾向がよく見受けられます。

四代金光様は次のようにも詠まれています。

心配出来る御礼の土台ぬきにして  
心配土台にうごくころか

私どもは生かされている命の土台があって、心配している自分がある、このことをよく思い分けし、まずは神様にお礼申し上げ、心配する事柄が立ち行くようにと心を改め、お取次を願う、そういう順序を違えぬようにして辛抱強く信心を進め、おかげの道を歩ませて頂きたい。おかげは和賀心(やわらぎよろこぶころ)にありと教えられていますから。(教会長)

## 月例霊神祭 (5月18日) の教話より

教会長 安井光一

「お世話になって百歳まで」との放送講話を金光教本部のホームページを開き、拝聴しました。その話の要約を紹介させていただきます。

○

「迷惑をかけない」とか「自分のことは自分でする」ということは、責任感や自立心を育てる意味から、子どもを育てる上では大切なことで、誰も異論はないように思います。しかし、そういう考え方が進むあまり、人と人との温かい触れ合いがなくなり、迷惑をかけないということで「老人の孤独の原因の一部」ともなっているような気がしてなりません。

今年93歳になるおばあさんはとても元気で明るい人で、若い頃から人より遅れることが嫌い、歩くのはいつでも先頭、団体で動く時は、集合場所へ一番に行き、待ち合わせ時間にも必ず何分か早く行くというような人です。口を開けば「年をとっても、人様や家族にできるだけ迷惑を掛けない」と言います。

ところが年のせいか、最近になって足が痛く、ヒザに水がたまるようになり、何日かに一度は病院で水を抜いてもらうようになりました。人より早く歩くことができなくなり、痛いのを我慢ながら時には顔をしかめながらもがんばって歩いています。家族や周囲の人たちは心配して「無理をしないように」と気遣います。

そのように優しくされることはうれしい反面、歩くのを止めると二度と歩けなくなり、寝たつきりになってしまうような気がして、家族に迷惑を掛けるのではないかと心配です。

「みんな、『休め、休め』と言うんですが、『がんばって歩きなさいよ、痛いからといって歩かないでいると、本当に歩けなくなるよ』と励ましてくれる方がありがたいんです」と言います。そして、ヒザが痛くても歩くことを止めません。

元気な時は歩いて10分ほどで行ける金光教の教

会への参拝を、今では毎日40分ほどかけて、雨の日も雪の日も欠かしません。教会では自分の足のことをはじめ、家族や周りの人たちのことを一心にお願いします。そして、次のように言われます。

「今までより何倍もの時間をかけて歩いたら、目に留まらなかったことが見えるようになりました。他所の家の垣根越しに見える季節の花や草、また忙しそうに働いている人たちや車やらが目に留まり、これまで気づかなかったことに気づかされるようになり、そのことで何だかとてもありがたい気持ちになるんです。それにいろんな人に声を掛けられたりして、以前よりずっと話をすることが増えたんです。あいさつ程度ですが、うれしいものですね」

「私は足が痛いということに決して不足は言わないようにしたいんです。不足を言っては、ここまで長い間使わせてもらい、痛いながらもこうして働いてくれる足に申し訳ないですから」

「これからも私は、今まで以上にいろんな人に迷惑を掛けるかも知れませんが、お世話になって、そして許してもらって百歳まで生きるんです。迷惑を掛けるのではなく、祈られて、見守られて、そして支えられて生きていくのですから、どんな時でも感謝の気持ちを忘れずにおりたいです」

おばあさんは、足が痛くなり、不自由な毎日の中で、今まで以上に人との触れ合いが生まれ、周囲を見渡す目にも、かたくななものが薄れていき、感謝とゆとりの心が広がってきました。

「できるだけ人に迷惑をかけない、自分ができることは自分でする」ということは、大切なことではありますが、人間は決して一人では生きていけないものではありません。むしろ、あらゆる人や



物のお世話になって生きています。そのことへの感謝が、いつでもどこでも現わされるようになりたいものです。そして、人との関わりを大切にしたいと思います。

# 生きることってすばらしい

## 第78回金光教少年少女全国大会 第6回霊地夜まつり参加案内

子供が学校に行き もの覚えが悪いので

そのことを願ったところ

「そちらの子は先生にするのか」と問われた

「いや そうではございません」と申したら

「まあよい なるようになる」と仰せられ また

「子供は親のとおりをするからなあ

よく心得ておれ」と仰せられた

(理解 11 天野喜八の伝え)

子育てに悩む親は、沢山おられます。「ほんとに、うちの子はどうしようもない」という言葉をよく耳にしますが、果たして自分は、子供にとって「どうしようもない親」になってはいないでしょうか。

学校へ行かない子供に対して、「高い学費を払わせて、一体、誰がここまで育てたと思っているの] と言えば、「誰が産んでくれと頼んだ」と言い返されても、仕方のないことです。「おもちゃを買ってほしい。みんな、持っているから」と言われれば、「みんながみんな、持っているわけないでしょう。あなたはあなた」と叱るけれども、「〇〇ちゃんは、いつもお手伝いをして、えらいわ」と言って、自分も同じように他人と比較していることに、気付かなければなりません。

子供は、親の言動を見て育ちます。良い子になってほしいと思うのなら、良い親になってほしいという子の思いも、聞いてあげましょう。

子供に対する言動は、常に、自分を振り返る良い機会です。「子育て」は、「自分育て」でもあるのです。大切なのは、「子育て」が一方向的なものでなく、「親も子供と共に育つ」という認識を持つことです。

(天王寺教会発行『生きることってすばらしい』第2集より抜粋)

8月9日(土)開催の「霊地夜まつり」では、フードコート(カレー、焼きそば、唐揚げ、フライドポテト、デザート等)、夜店(ゲーム等)を開設いたします。全店無料で提供いたしますが、チケット交換制となっています。

つきましては、各会において必要なチケット枚数を下記へ明記して、本紙を大会事務局(下掲)へご返送(郵送、FAX可)下さい。

※見込み数で結構です。

準備の都合上、申込期限は6月30日(月)となりますので、必ず間に合うようにご返送ください。期間を過ぎてからの申し込みは出来かねます。

チケットは、当日開会式終了後、境内受付案内所付近のチケットセンターにて配布いたします。

チケットは事前申し込み制です。当日券は近隣在住の一般参加者に配布するためのものですので、必ず事前申し込みをお願いいたします。

○

上記のように案内の通知が来ています。希望者が5名以上あれば、対応させていただきます。教会の掲示板の申し込み欄に6月20日までに記名し、申し込んでください。

### 令和七年 教会の願い

金光様、日々有難うございます  
和らぎよろこぶ心を土台に  
辛抱強く信心の稽古に努め  
身代、人間、達人の上におかげを受け  
世のお役に立たせて下さい

# 6月



日	曜	教会行事	教会長、その他	日	曜	教会行事予定	教会長、その他
1	日	月頭祈願祭・14時	町内大掃除・8時	16	月		
2	月			17	火		
3	火		第五企画委員会 (14~16時、玉水)	18	水		
4	水			19	木		
5	木			20	金		
6	金			21	土		自治会理事会 19時
7	土			22	日	月例霊神祭・14時 布教部宣教	
8	日	教団独立記念祭 8時教会発		23	月		
9	月			24	火		だるまっこ・9時 民生定例会・13時
10	火			25	水		みのり編集会議 10時40分
11	水			26	木		
12	木			27	金		
13	金			28	土		
14	土	月例金光大神祭 14時		29	日		自治会横断幕張り 9時
15	日			30	月	夏越の感謝祭 14時	

## 6月のご霊神様

北野カズエ乃霊 (昭和56年6月6日帰幽)  
 前島フサ刀自乃霊 (昭和20年6月7日帰幽)  
 池端春枝乃霊 (昭和27年6月20日帰幽)  
 門田寿ず姫乃霊 (昭和56年6月25日帰幽)  
 安井宗男大人乃霊 (昭和41年6月28日帰幽)

大西清太郎翁乃霊 (平成7年6月5日帰幽)  
 前島嘉次郎彦乃霊 (昭和20年6月7日帰幽)  
 吉岡房子姫乃霊 (平成21年6月10日帰幽)  
 今コユウ刀自乃霊 (昭和3年6月22日帰幽)  
 加藤ヨシ子姫乃霊 (令和6年6月25日帰幽)  
 高田徳子比女乃霊 (昭和53年6月28日帰幽)

## 6月のお誕生 (敬称略)

呉彩友莉、柴田慧斗、池端 望、金山正義、照本将大、北見 遼、  
 安井和奏、富山明日香、上田あゆみ、田島佐世

みなさんおめでとうございます

